

## 日本ケミコンが特別損失を計上 格付にネガティブ、今後の業績・財務の方向性を要精査

以下は、日本ケミコン株式会社（証券コード：6997）の「米国集団民事訴訟の和解及び特別損失の計上」についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は本日、米国での集団民事訴訟について原告団と和解することを決定し、22/3期に160百万米ドル（約180億円）の和解金を特別損失として計上する予定であると発表した。本件は、主力製品であるアルミ電解コンデンサなどの取引に関して米国反トラスト法違反等で損害賠償等を請求されていたものである。和解は裁判所の承認手続きを経て、正式に効力が発生することになる。なお、本件が業績に与える影響については現在精査中であり、見通しがつき次第速やかに開示するとしている。
- (2) 足元の業績は回復に転じているものの、21年9月末における自己資本557億円などに照らすと損失額は多額である。また、和解金の支払いによるキャッシュアウトが今後伴うことになる。JCRは、今後の業績・財務の方向性や本件に係る資金調達方針などを確認の上、格付に反映させていく。

（担当）殿村 成信・関口 博昭

### 【参考】

発行体：日本ケミコン株式会社

長期発行体格付：BBB

見通し：ネガティブ

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル